

川崎市立看護大学開学

4月1日、幸区小倉に川崎市立看護大学が開学しました。

4年制の看護大学としては市内初めての開学になります。

看護学部、看護学科に1学年100名の学生が学んでおり、
全学年あわせても400名ほどの規模になります。

学生には各自タブレット端末を用意
(学生がタブレット端末を使って学んでいる様子)

これまで重かった紙の教科書を
デジタル教科書に大きく切り替えました。

授業で使用するほか、電子書籍でどこからでも
図書の閲覧・貸し出しを可能にするなど利便性の向上をめざしています。
(図書館で学生が学んでいる様子)

また、看護授業の実習ではカメラ機能を積極的に使うなど
様々なデジタル化の取り組みが進められています。

川崎市立看護大学では、
看護基礎教育を軸に地元と連携し、
地域に根差して活躍できる看護職の人材育成を
目標の一つにしています。